

2024年3月28日

～アスリートとともに歩み続けた軌跡～ 「ビクトリープロジェクト®」20周年

味の素グループは、アミノサイエンス®で人・社会・地球のWell-beingに貢献することを志（パーパス）としております。アミノ酸のはたらきを知り尽くした、味の素グループらしい活動の一つであるビクトリープロジェクト®が今年20周年を迎えました。

ビクトリープロジェクト®は、日本の国際競技力向上及びメダル獲得数増を目的として、日本オリンピック委員会（JOC）との共同事業として2003年にスタートし、数多くのトップアスリートや日本代表選手団「TEAM JAPAN」にアミノサイエンス®を活用した栄養サポートを行い、コンディショニング維持・向上に貢献してきました。

特にリオ2016から始まったJOCとの共同運営の和軽食提供拠点のJOC G-RoadStationは大会現地での栄養サポートとして、ビクトリープロジェクト®の象徴的な活動の一つとなっています。

また、2016年からは、日本パラリンピック委員会（JPC）ともビクトリープロジェクト®をスタートさせるとともに、2017年以降にはブラジルや、タイをはじめとするASEAN各国でもビクトリープロジェクト®を開始する等、活動領域は広がりつつあります。

さらに、ビクトリープロジェクト®から生まれた栄養プログラム「勝ち飯®」は、生活者への情報発信や、スポーツイベントでの食事提供などを通じて、毎日の食卓に栄養バランスのよい食事を取り入れていただくことで、世界中の人々のWell-beingに貢献しております。

選手のなりたい姿の実現に向けて、味の素グループのアミノ酸、食品の製品を活用したコンディショニングサポートに取り組むビクトリープロジェクト®の様子をご覧ください。

【↓画像をクリックするとリンク先動画に移ります】



VICTORY PROJECT®

参考

AJINOMOTO×SPORTS公式サイト:<https://www.ajinomoto.co.jp/sports/>

味の素グループは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートスローガンに、アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献し、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2022年度の売上高は1兆3,591億円。世界36の国・地域に拠点を置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2023年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先：investor_relations@asv.ajinomoto.com